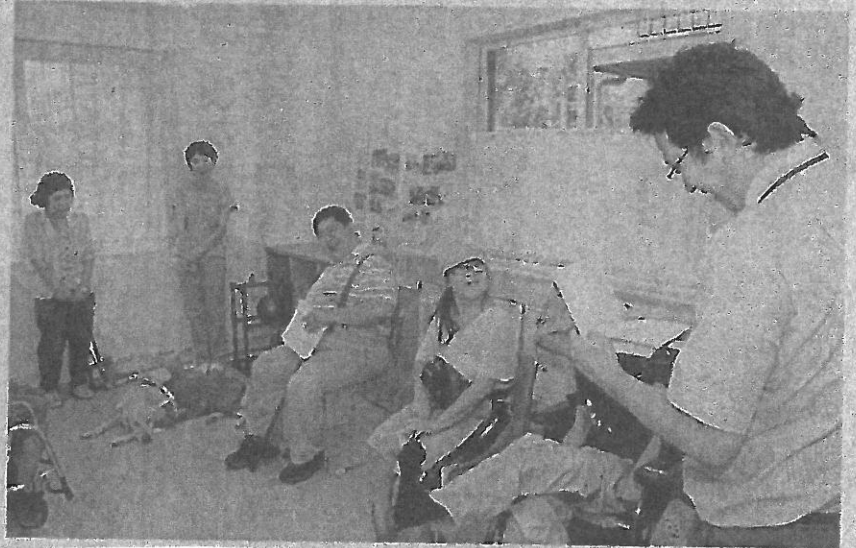


寸劇や肥料販売

宝塚 身体障害者作業所で催し



センターの積極的な活用を呼び掛けている。問い合わせは「ILセンター」(0797・82・22222)。

【高瀬浩平】

宝塚市山本南2にある身体障害者の小規模作業所「ILセンター」で13日、イベント「もっと知ってよアイエルセンターのこと」が開かれた。スタッフらによる寸劇「写真」や、コーヒーや肥料などの販売があった。

センターはNPO法人「とことこ」(中山君江理事長)が運営。寸劇は、新聞記者役の職員がスタッフにセンターの取り組みを取材するシナリオで、パソコンの操作やチラシを作成していることを紹介。もみがらやおがく

ずに微生物を混ぜて作った土壌改良資材や、牛や豚のふんで作った堆肥も販売した。

中山理事長は「障害者が自宅に閉じこもらず、もっと社会に出られるようにしたい」と